

## ごあいさつ

みなさんこんにちは！寒い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。昨年の暮れには急な衆議院の解散総選挙があり、私はまさに暮れも正月も無いあわただしい日々を送っています。今年には県議会議員として8年目、改選の年となりますが、この正月はその8年間のことを色々と思い出しています。思えば初当選して自民党の会派に所属することを決めたとき「どろ船に乗るつもりか？」と忠告してくれた友達がいました。当時は第一次安倍内閣から福田内閣へと移行する頃で、自民党の評価が地に落ちてしまっている時でしたから友達の忠告ももっともな事でした。しかし、その時々の人気や支持率ではなく、自らの政治信条に照らして最も近い政党として自民党を選んだのは間違いではなかったと思っています。そして今は県議会自民党の中で三度目の政務調査会副会長に任ぜられ、議員提案による手話言語条例を成立させるなど、県政を動かす実感を感じることができている昨今です。

さて、昨年暮れの選挙でその自民党は大勝しました。だからこそ自民党は決して驕(おご)ってほならないと思っています。自民党が驕らない、間違わないためにどうすれば良いか？それはあの野党だった3年間の思いを忘れないことです。野党として何を思ったか、野党の苦しい時代をだれが支えてくれたのか、そのことを考えながら前に進めば私たちは決して誤った道を進むことは無い。それが平成27年新春、私の思いです。

平成27年新春 神奈川県議会議員 おさだ進治



## 各地で県政報告会を開催

毎月市内各地で県政報告会を実施しています。養護学校の整備計画や県立がんセンターのことなど身近な話題についてお話しています。皆さんからご要望があればどこでも伺いますので、是非お気軽に声をおかけください。

**この人紹介** 海老名で活躍する方々をご紹介します。今回は下今泉で「酒造りは米作りから」の信念のもと伝統を大切にしながら純米酒を醸造している橋場友一さんをご紹介します。

## 泉橋酒造(株)社長 橋場 友一さん



今回は海老名の造り酒屋「泉橋酒造」の若き経営者・橋場友一君をご紹介します。大学を卒業後大手証券会社に勤務した橋場君が家業の造り酒屋を継いだのが26才のとき。フランスの国際空港で初めて日本酒の販売を行うなど経営革新を進めると同時に日本酒を普及するため全国で講演活動も行なっています。現在では海老名市内の農家と協力し、酒米として使用する山田錦を全量地元で生産し、醸造するお酒の全てを純米酒にするなど味の面でも素晴らしいお酒を作り上げています。また、小田原の十郎梅と日本酒で作った梅酒「山田十郎」や、造り酒屋の技術を活かして津久井在来大豆で味噌を作るなど魅力的な商品を数々リリースしています。

横浜高島屋の酒類販売コーナー、その一角に高級な日本酒を陳列している冷蔵ケースがあるのですが、その一番高い棚に「いづみ橋」の酒を見つけた時、私は地元海老名の造り酒屋を本当に誇らしく思ったものです。(おさだ)

泉橋酒造HP <http://izumibashi.com/> <https://www.facebook.com/izumibashi>

アクティブ VOL.29  
**ACTIVE**

発行

おさだ進治事務所  
海老名市大谷北 1-5-27  
Tel: 046-236-0505  
Fax: 046-236-0508  
osada@osadashinji.com



2015年1月5日 発行

神奈川県議会議員  
<http://osadashinji.com>

**おさだ進治**

## いよいよ運行開始!!



## わずか5,500円で大阪へ!

海老名と京都・大阪・鳥取を結ぶ夜行バスの運行が始まります!東京を出発し、横浜へ寄ったバスが海老名インターチェンジを降り、海老名駅付近に設置するバス停から乗客を乗せて京都、大阪、鳥取へと向かうもので、今月中には運行が開始される見込みです。このバスは小田原市に本社を構える杉崎観光バス(株)が運行するもので、バス停は国分関免交差点付近になります。料金は大阪までオフシーズンなら5,500円程度、夏休みなどの観光シーズンでも8,000円から10,000円程度の運賃となりますから飛行機や新幹線に比べて格安です。大阪(梅田)までの所要時間は6時間50分程度、古都京都、ユニバーサルスタジアムの大阪、鳥取砂丘など、私たち海老名市民にとっては関西方面が身近になり、とてもメリットのある事業であると考え、私も路線の開設に協力させて頂きました。楽しみですね。

海老名発!  
京都・大阪・鳥取行き夜行バス

## 議員提案・手話言語条例を制定

神奈川県議会では自民党を中心に公明党、県政会の共同提案により「神奈川県手話言語条例」を制定しました。例えば駅などの街中で英語や中国語を話す方に配慮して英語や中国語の案内看板を設置するように、神奈川県は手話を言語として尊重し、手話によって意思疎通をするろう者の皆さんができるだけ不便なく意志疎通できるように“手話を普及”し、“市町村と連携”し、“財政上の措置”に努めるなど、その責務を定めました。

その他県議会では「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」、「神奈川県再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」など、議会の側から条例案を提案するケースが増えています。私は今年も自民党政務調査会の副会長を務めています。成立にこぎつけるまでには自民党県議団内にプロジェクトチームを結成して一年近く検討を重ねるなどして参りましたが、議会の立法能力の向上は地方議会においても大切な課題だと感じています。

## 犬猫の殺処分ゼロを続けよう！

昨年度一年間、犬の殺処分ゼロを達成した神奈川県動物保護センターでは今年度もゼロ達成に向けた取り組みが続いています。更に猫についても一昨年10月から1年以上殺処分ゼロが継続しており、県内外から注目を集めています。ペットを飼い、何らかの理由で飼いきれなくなって保護センターに持ち込む飼い主ができるだけ最後まで責任をもって飼うよう啓発活動を強化するほか、県のイベントで保護中の犬や猫の写真を展示して引き取り手を探すなどの取り組みを行った成果ですが、その陰には多くのボランティアの皆さんの献身的な協力があります。汚れた犬をきれいに洗ってあげる人、シェルターと言われる施設に一時保護をしてくれる人。そうした人たちによって殺処分ゼロが支えられているのです。一方、栃木県内などで犬を大量に遺棄する事件が発生しています。これは動物愛護法が強化され、ペットショップが売れ残った犬などをやむをえない場合を除き殺処分してはならず、終生飼育しなければいけないことが義務付けられるなど、責務が強化されたことに原因があるという指摘もあります。こうした現実にも目を向けながら今後も犬や猫の殺処分が無くなるよう県の努力を求めていきたいと思えます。



### ●ホームページをリニューアルしました

<http://osadashinji.com>

ホームページをリニューアルしました！日々の思いをつづったブログや海老名で進行している県のプロジェクトなど、動画を交えて解りやすく解説させて頂いています。是非ご覧ください。



こちらチェック！

<http://osadashinji.sblo.jp> 15年続けて書いてます！毎日更新！おさだ進治のブログ

## さがみロボット産業特区見学会 県民の生活を支援する最先端技術を見てきました

相模原には宇宙航空研究開発機構 JAXA があり、座間には日産、海老名にはリコーなど、高度な先端技術を持つ企業と、それを熟練の技術で支える中小企業など、神奈川の圏央道沿いには 2 千を超える優秀な企業群があります。これに着目し、この地域一帯を「さがみ」と呼び、ロボット産業の集積をしようという取り組みが始まっています。そしてその技術の中心となる施設が海老名にある「神奈川県産業技術センター」(下今泉) であります。その技術はすでいくつかの形となり、かつて県立高校のあった建物やグラウンドを利用したプレ実証フィールドでは試作されたロボットの実証が盛んに行われています。また、藤沢の湘南ロボケアセンターでは筑波発のサイボーグ型ロボット HAL が歩行のできない人のリハビリに成果を上げています。去る平成 26 年 11 月 25 日には海老名から私、おさだ進治を含む 20 人の視察団でこれらのセンターを視察しました。



コミュニケーションロボット「パルロ」

### プレ実証フィールド

プレ実証フィールドでは、企業や研究機関等が病院や高齢者施設、道路など実際にロボットが使われる場所で本格的な実証実験を行う前に、ロボットの完成度を高めるため、まずは元県立高等学校の施設を活用して、動作確認等を行っています。今回見せていただいたのは、太陽電池パネルで動き遠隔操作が出来る「放射線観測ロボット(明治大学)」、や人の動きや声を感じて高齢者を見守る「介護支援シス



テム(北里大学) などです。見学会参加者の中にはこれからロボット産業に参入しようと考えていらっしゃる中小企業の社長さんなどもいらして、貴重な体験をしていただけたようです。次世代の若者に活力を持ってもらうためにも、次の社会をリードする産業の育成が大切です。

### 湘南ロボケアセンター



ロボットスーツ HAL® (Hybrid Assistive Limb®) とは、体に装着することによって、身体機能をサポートしてくれる世界初のサイボーグ型ロボットです。人が身体を動かそうとするときに、脳から発せられる神経信号を感じて手足を動かしてくれる世界最先端のロボットです。事故によるケガで下半身不随となっているような方がこのロボットスーツをつけることによって歩くことができ、その成功体験を続けることにより、途絶えていた神経経路が回復し、やがて自分の力で歩くことができるようになる例が出てきています。